

中学校第2学年 社会科(地理的分野) 学習指導案

期 日 平成24年10月23日(火)第5校時
場 所 天草市立倉岳中学校 2年1組教室
指導者 教諭 松本 哲也

1 単元名

「身近な地域の調査」(東京書籍)

2 単元について

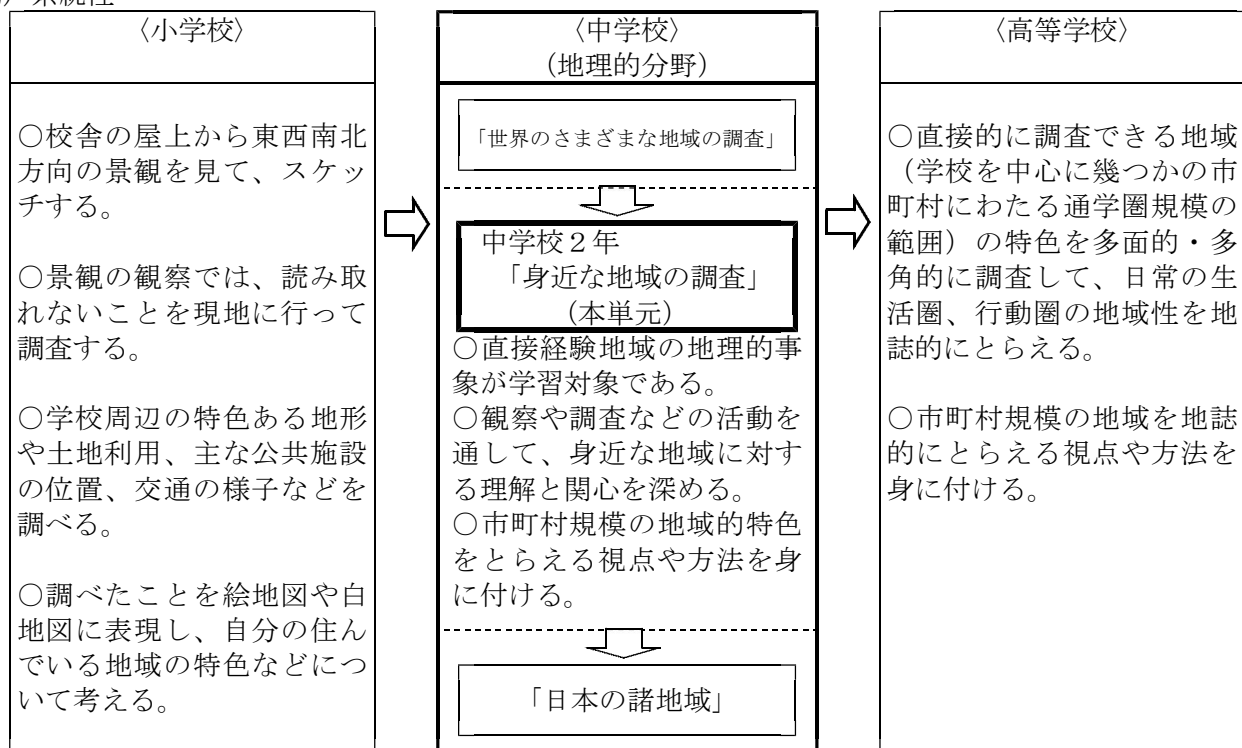
(1) 単元観

本単元は、地理的分野の目標(4)「地域調査など具体的な活動を通して地理的事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に選択、活用して地理的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力や態度を育てる」ことを受け、「身近な地域における諸事象を取り上げ、観察や調査などの活動を行い、生徒が生活している土地に対する理解と関心を高めるとともに、市町村規模の地域的特色をとらえる視点や方法、地理的なまとめ方や発表の方法の基礎を身につけさせる」ことを目標としている。

本単元では、生活体験地域である身近な地域を題材として、情報の収集、課題の発見、予想・仮設の設定、調査、検証・まとめなどの課題解決の過程を理解し、実際に活用できる力をつけさせたいと考える。そのためには、まず、地図や表、グラフからの情報を読み取り、それら読み取った情報を比較、関連させた分析、情報を整理、あるいは分析した結果を効果的に表現するための地図やデータの作成などの技能、及びそれらの技能を活用しながら身近な地域の事象を考察する力をつけさせる必要がある。

また、生徒が生活している地域に対する理解と関心を深めさせるとともに、調査に意欲的に取り組み、その結果を地理的なまとめ方、発表の仕方として身に付けられるようにしていきたい。

(2) 系統性



(3) 生徒観

本学級は男子11人、女子13人、計24人で構成されている。本単元での生徒の実態を次のように分析した(学級生徒24人への事前アンケート、レディネステスト、1学期の評価の結果から)。

授業中は、真剣に話を聞き課題解決へ向けて努力する生徒が見られるが、集中力や意欲に欠ける生徒も数名見られる。個人差が大きく、失敗を恐れたり自信がないため、全体場で発表することに消極的な生徒が多く見られる。

本単元及び本時に関するアンケートの結果は、以下の通りである。

- | | |
|--|------------------|
| ○天草地域にある2市1町の名前を答えなさい。 ※答えは、天草市・上天草市・苓北町 | |
| ・全て正解 3人 | ・2つ正解 8人 |
| ・1つ正解 6人 | ・正解なし 7人 |
| ○天草地域の範囲や倉岳町の位置を正確に白地図に表すことができる。 | |
| ・天草地域の範囲 正しい 7人、 | ほぼ正しい 4人、 |
| 正しくない13人 | |
| ・倉岳町の位置 正しい10人、 | ほぼ正しい 5人、 |
| 正しくない 9人 | |
| ○天草地域の宝は何だと思いますか（記述式、複数回答可）。 | |
| ・海や山などの自然(倉岳2名を含む) 17人 | ・えびす像 12人 |
| ・歴史や文化(キリスト教関連) 2人 | ・魚がたくさん捕れる 2人 |
| ・水がきれい 1人 | ・陶芸・焼き物 1人 |
| ○課題を解決するために、あなたはどのような手段、方法で調べましたか（複数回答可）。 | |
| (課題を解決するために調査活動を行い、レポートにまとめたり、発表した経験のある生徒：24人中24人) | |
| ・インターネット 19人 | ・現地でのインタビュー 17人 |
| ・学校の図書室 14人 | |
| ・その他(新聞・本や雑誌・パンフレットなど) 3人 | |
| ○課題を解決する際に、どのようなまとめ方をしましたか（複数回答可）。 | |
| ・新聞などにまとめた 19人 | ・広用紙にまとめた 7人 |
| ・レポートにまとめた 6人 | ・パソコンを使ってまとめた 4人 |
| ○課題に対して調べてまとめたり、発表したりする学習は好きですか。 | |
| ・好き 3人 | ・どちらかと言えば好き 8人 |
| ・どちらかと言えば好きではない 10人 | ・好きではない 3人 |

このことから、天草地域に関する生徒の興味・関心はさほど高くなく、関心も生活地域である倉岳町を中心とした狭い範囲に限定されていることがわかる。また、クラス全員が課題を解決して考えをまとめる体験があるが、統計資料の読み取りや考察、まとめたことを発表するといった活動に慣れていない生徒が多い。

(4) 指導観

- 身近な地域に見られる社会的事象に気づかせ、生徒の問題意識を向上させ、意欲的に学習に取り組める問題解決的な学習を実施する。
- 資料提示を工夫し、複数の資料から必要な情報を読み取らせるとともに、読み取った事実を手がかりとして更に考察したり判断したりする活動を通して思考力・判断力を育てられるようにする。
- 資料から分かったことや考えたことを学習シートに書かせることで情報を整理させ思考する過程が見えるようにする。
- 一つの資料から読み取った情報だけでなく、いくつかの資料と比較関連させて、結論を導き出すような考察・判断を行うようにする。
- 班で友だちと意見交換したり、共同作業する体験的な学習を通して、一人一人の考えを広げたり、深められるようにする。

Cプロジェクト情報活用能力の育成の観点から
本単元を通して育てたい情報活用能力は、「情報をいろいろな見方で分析したり、整理したりすること」や「収集した情報を基にそれらを比較・関連させることで、新たな情報をつくり出すこと」である。そのために、生徒が、身近な地域についてさまざまな情報手段を活用しながら主体的に調べまとめたことを発表を通して振り返り、その後の学習にフィードバックする授業を構成する。

3 単元の目標と評価規準

単元の目標	身近な地域における諸事象を取り上げ、観察や調査などの活動を行い、生徒が生活している土地に対する理解と関心を深めて地域の課題を見だし、地域社会の形成に参画しその発展に努力しようとする態度を養うとともに、市町村規模の地域の調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方や発表の方法の基礎を身に付けさせる。
評価規準（国立教育政策研究所作成「評価規準の設定例」より）	
社会的事象への関心・意欲・態度	・身近な地域の調査を行う際の視点や方法を基に、地域の調査とその地域的特色や地域の課題に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。
社会的な思考・判断・表現	・身近な地域の地理的事象から課題を見だし、その過程や結果を適切に表現している。 ・身近な地域の地域的特色や地域の課題を、地域の調査を基に多面的・

	多角的に考察し、その過程や結果を地理的なまとめ方や発表の方法により適切に表現している。 ・身近な地域の調査を行う際の視点や方法を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。
資料活用の技能	・身近な地域の調査とその地域的特色や地域の課題に関する様々な資料を収集している。 ・収集した資料から、身近な地域の調査とその地域的特色や地域の課題について有用な情報を適切に選択している。 ・適切に選択した情報を基に、身近な地域の調査とその地域的特色や地域の課題について読み取ったり図表などにまとめたりしている。
社会的事象についての知識・理解	・身近な地域の調査について、調査する地域の地域的特色や地域の課題を理解し、その知識を身に付けている。 ・身近な地域の調査について、地域の調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方や発表の方法を理解し、その知識を身に付けている。

4 指導・評価の計画（11時間取扱い 本時8／11）

次	時	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点 ※プロジェクトの視点から	評価基準(基準B) (評価方法)
1	1	○身近な地域に関する地域的事象を基に、身近な地域の特徴を捉えるための課題を設定する。	・生徒の日常の経験から予想できるような身近な題材を取り上げることで、自分たちが住む地域への関心を高めさせる。	関心・意欲・態度 （ワークシート） 身近な地域の特徴を捉えるために、追究したい課題をワークシートにいくつか記入している。
	2	○グループ毎に身近な地域の特徴を捉える課題を追究するための視点や方法を考え、調査計画を立てる。	・課題を追究するための視点を考えさせ、課題にかかわる地理的事象を成り立たせている背景や要因を予想させる。 ・予想を検証するための方法を考え、調査計画を立てさせる。 ※調査計画の作成にあたり、情報の収集・判断・表現・処理・創造など、情報を活用するプロセスを踏まえて、計画が立てられるよう支援する。	思考・判断・表現 （ワークシート） 課題にかかわる地理的事象を成り立たせている背景や要因について、地域的特色をとらえる視点に着目して予想を立て、ワークシートに記入している。
2	3	○グループ毎に身近な地域の観察や調査に取り組み、課題を追究するための情報を収集する。	・グループ毎に身近な地域の観察や調査に取り組み、目的に応じた適切な手段・方法を用いて情報を収集するよう留意させる。	関心・意欲・態度 （観察） 課題解決に必要な情報を収集するため、観察や調査に意欲的に取り組んでいる。
	4	○グループ毎に観察や調査の結果を基に予想の検証を行う。	・調査活動の結果を基に予想の検証を行わせる。 ・調査活動で集めた資料の中から、検証に必要な資料を選択させる。資料の選択にあたっては、それらの資料をどう処理するのかという次のプロセスを意識して活動するよう留意させる。	思考・判断・表現 （観察・資料） 地域の特徴をとらえる視点に着目して資料を選択し、予想を検証している。
	5	○課題を追究し考察した過程や結果を整理してまとめ、発表の準備を行う。	・課題を追究し考察した過程や結果を分かりやすく工夫して、まとめさせる。 ※観察結果や統計資料などを地図化したりグラフ化した	技能 （観察・資料） 課題を追究し考察した過程や結果を、地図や図表にあらわすなど表現方法を工夫して分かりやすくまとめている。

			り、表現方法を分かりやすく工夫させる。	
	7	○考察した過程や結果を発表する。	・調査の動機と目的、調査経過と内容、分析と調査結果が明確に分かるようにまとめ、発表させる。 ・各班の発表を聞いて、身近な地域の特色とそれを追究するためのより適切な視点や方法について考えさせる。発表に際しては、聞き手が同じ課題について調査している事を踏まえて、情報を整理して発表する必要があることに留意させる。	技能（観察・評価表） 身近な地域の特色に関する課題を追究し、考察した過程や結果を地図やグラフなどを活用して発表している。 思考・判断（観察・評価表） 自他のグループの発表を身近な地域の特色を鮮明にとらえているかどうかという観点から評価している。
3	8 本時	○他の班から出された意見を参考に改善策をまとめ、再調査計画を立てる。	・他の班から出された意見を整理し、効果的で取り組みやすい改善策をまとめさせる。 ・これまでの情報の活用を振り返り、どこに課題があったのか考えられるよう支援する。 ※自己と他者の考えを比較・整理して改善策をまとめるため、付箋紙を活用させる。	思考・判断・表現（ワークシート） 他の班からの意見を参考にし、自己の視点や考えを明らかにした改善策をまとめている。
	9 10	○再考した調査計画に従い、グループ毎に課題を追究する。	・改善策を意識させ、課題を追究するための情報を効果的に収集できるよう支援する。 ・これまでの情報の活用を改善した方法で、調査活動を進める。	関心・意欲・態度（観察） 必要な情報を収集するためや課題を改善するための調査活動に意欲的に取り組んでいる。
		○考察した結果をまとめ、発表する。	・前回の発表内容の改善を意識し、より適切な視点や方法で調査結果をまとめ、発表させる。 ・同じ課題について、一度発表したものである事を踏まえ、発表のどの点がどの様に変ったのかを中心に発表できるよう整理させる。	技能（観察・評価表） 身近な地域の特色に関する課題を追究し、考察した過程や結果を地図やグラフなどを効果的に活用して発表している。 思考・判断・表現（観察・評価表） 自他のグループの発表を身近な地域の特色を鮮明にとらえているかどうかという観点から評価している。
4	11	○身近な地域の特色をまとめ、地域の発展について考える。	○今回の観察や調査を振り返らせ、身近な地域の特色をまとめ、地域の発展について考えるとともに、市町村規模の地域的特色をとらえる視点や方法などを整理させる。	知識・理解（ワークシート） 身近な地域の特色や市町村規模の地域的特色をとらえる視点や方法についてどのように理解しているかをワークシートに記入している。 関心・意欲・態度（ワークシート） 身近な地域の特色を踏まえて地域の発展について考えたことをワークシートに記入している。

5 本時の学習

(1) 目標

他の班から出された意見を参考にして、班の発表をよりわかりやすくするための改善策をまとめることができる。
【社会的な思考・判断・表現】

(2) 評価基準 【思考・判断・表現】

(基準B) 他の班からの意見を参考にして、自己の視点や考えを明らかにした改善策をまとめている。

(基準A) 他の班の意見や自己の考えをもとに、調査活動を効果的に行う視点や考えを明らかにした具体的な改善策をまとめている。

(3) 展開

過程	学習活動【学習形態】	主な発問・指示等	指導上の留意点及び評価 ※Cプロジェクトの視点	備考
導入 5分	1 前時(発表会)を振り返る。【一斉】 2 学習課題を知る。【個人】	○テーマ決定から発表会までの班活動を振り返ろう。 ○各班の発表テーマと内容を確認しよう。	○各班の発表内容(スライド)を掲示する。	発表資料 意見貼り付けシート
	【課題】 「他の班からの意見を参考にして、班の発表をよりわかりやすく見直していこう。」			
展開 40分	3 発表会での課題を整理する。【班】 4 改善策について考える。【個人→班】 (1) 個人で改善策を考える。【個人】 (2) 個人の考えを班で出し合い、改善策をまとめる。【班】 (3) まとめた改善策を発表する。【一斉】 5 今後の調査活動計画を立てる。【班】	○他の班からの意見を確認し、課題を整理しよう。 ○改善策を考えるうえでの視点を確認しよう。 ○個人で考えた改善策は、付箋に記入しよう。 ○個人で考えた改善策を班で発表しよう。 ○改善策をまとめ、シートに記入しよう。 ○発表の準備をしよう。 ○話し合った改善策や他の班の改善策を参考に、今度の計画を立てよう。	○付箋に書き込まれた各班からの意見を貼り付けた用紙を準備する。 (徹底指導 ポイント) ◎改善策を考えるうえでの視点を全体で確認する。 【視点】 ・仮説の検証 ・資料収集 ・資料の整理・分析・加工 ・発表の手順・方法 など 【評価：思考・判断・表現(ワークシート・付箋)】 ○他の班からの意見を参考にして、自己の視点や考えを明らかにした改善策をまとめている。 〈B基準に達しない生徒への手立て〉 ○机間指導を行い、改善の視点をもとに支援・助言する。 (能動型学習 ポイント) ◎自分の考えと、他者の考えを比較したり、深めたり、まとめられるよう支援する。 ※友だちの考えと比べる時に、共通点や相違点で整理しやすいように付箋を活用する。 ○改善の効果や取り組みやすさなどの判断基準を設定し、優先順位も考えさせる。 ○改善策を具体化させ、役割分担などを話し合わせる。	意見集約シート 付箋(大) 付箋(小) 改善策用シート 発表用シート 実物投影機 スクリーン
整理 5分	6 学習のまとめを行う。【個人】	○今後の活動について、見通しをもとう。	○自己評価シートで評価を行わせる。	自己評価シート